

2009.4.16

微分積分学 I (理学部 4~6、 木曜 4 限)

洞 彰人 (大学院多元数理科学研究科・理学部数理学科)

講義方針 多少の前後はあるものの、教科書に指定した
三宅敏恒著「入門微分積分」(培風館)

にだいたい沿って進みます。前期の微分積分学 I では、第 1,2,3 章と第 6 章の一部の内容をカバーします。講義内容その他は統一シラバスに記したとおりです。成績評価方法は、中間・期末試験が主、宿題レポートが従です。

講義計画 必ずしも予定どおりに推移できるかどうかはわかりませんが、次のような計画を立てています。

- 4/16 実数の性質、数列の極限
- 4/23 関数の連続性、初等関数
- 4/30 導関数、接線
- 5/07 平均値の定理
- 5/14 高次導関数
- 5/21 テイラーの定理
- 5/28 **中間試験**
- 6/04 名大祭のため休み
- 6/11 積分の定義 (区分求積)
- 6/18 微分積分学の基本定理
- 6/25 積分の計算
- 7/02 広義積分、ガンマ関数
- 7/09 無限級数
- 7/16 関数のテイラー展開
- 7/23 (または 7/30) **期末試験**

オフィスアワー 水曜 12:00 から 13:00、洞研究室 (理学部 A 館 4 階 441 号室) にて。ただし、講義室と研究室が離れていますので、講義直後の質問も好都合です。